

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成29年 3月
【担当及び関係課】 道路交通局都市交通部

計画の名称	「行きよい」都心づくりのための交通環境の整備・充実（活力創出基盤）
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）
計画の目標	

市民や来訪者が容易に都心にアクセスできるよう、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	
----------------	--

都心周辺のＪＲ駅から公共交通の乗換え利用者の利便性を向上させ、公共交通の利用促進を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	
デルタ入口のＪＲ駅（広島駅、横川駅、西広島駅、（白島新駅））からの降客のうち、他の公共交通機関への乗換割合（％）				
（乗換割合）＝（４駅の降客のうち、公共交通機関（代表手段）に乗換客数（１日））／（４駅の降客数（１日））	37.7%		現況より増加	

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H23	261 百万円	●基幹事業 ・広島新交通１号線（白島新駅） 道路改良（L=0.1km）を計画し、計画どおり実施した。 ・新白島駅連絡線（白島新駅） 道路改良（L=0.2km）を計画し、計画どおり実施した。 ・中１区基町佐東線（白島新駅） 道路改良（L=0.3km）を計画し、計画どおり実施した。 ・西広島駅南北自由通路 道路改良（L=0.1km）を計画し、自由通路基本設計や物件調査を実施した。 次期整備計画（鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全））において引き続き整備を行う。 ・広島新交通１号線外１路線（白島新駅） 道路改良（L=0.2km）を計画し、計画どおり実施した。 ・新白島駅連絡線（国道横断部） 道路改良（L=0.1km）を計画し、計画どおり実施した。 ・白島地区都市交通システム整備事業 ＪＲ白島新駅整備（ホーム長L=165m×2）を計画し、計画どおり実施した。 ●関連社会資本整備事業 ・広島新交通１号線（白島新駅インフラ外部） アストラムライン白島新駅の電気・機械設備等を計画し、計画どおり実施した。 ●効果促進事業 ・白島新駅駐輪場整備 駐輪場整備（約１０００台）を計画し、整備を行った。
	H24	819 百万円	
	H25	1,311 百万円	
	H26	2,432 百万円	
	H27	- 百万円	
	合計	4,823 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	●基幹事業 ・広島新交通１号線（白島新駅）、新白島駅連絡線（白島新駅）、中１区基町佐東線（白島新駅）、 広島新交通１号線外１路線（白島新駅）、新白島駅連絡線（国道横断部）、白島地区都市交通システム整備事業 ＪＲ山陽本線とアストラムラインとの交差点にそれぞれの新駅を整備し、相互を連絡通路で結ぶことにより、 都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化を図った。 ・西広島駅南北自由通路 道路改良（L=0.1km）を計画し、自由通路基本設計や物件調査を実施した。 次期整備計画（鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全））において引き続き整備を行う。 ●関連社会資本整備事業 ・広島新交通１号線（白島新駅インフラ外部） 基幹事業と一体的に整備することにより、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化を図った。 ●効果促進事業 ・白島新駅駐輪場整備 基幹事業と一体的に整備することにより、新駅利用者の利便性向上及び新駅周辺の良好な市街地の形成を図った。		
目標値の実現状況	指標：（乗換割合）＝（４駅の降客のうち、公共交通機関（代表手段）に乗換客数（１日））／（４駅の降客数（１日））		
	最終目標値（H27末）	目標値と 実績値に	成果目標の達成状況：目標達成
	現況より増加	差が出た	
	最終実績値（H27末）	要因	
	37.9%		

要素事業に併せて 実施した他事業の 効果の発現状況、 及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況	
--	--

3. 今後の方針

未整備の要素事業については、防災・安全社会資本整備交付金事業（鉄道駅周辺の安心・安全な歩行空間の整備（防災・安全））へ移行して引き続き整備を推進することで、都心周辺の交通結節点から拡大都心核への公共交通機関のアクセス強化に取り組む。

4. その他特記事項